

開催報告

紙パック(牛乳パック)からはがきづくり

11月23日(日) 10:00~12:00 ★参加人数：大人 10名、子ども 11名

1. 講義 紙パックのお話

講師 浜松市消費者団体連絡会 伊藤先生

- ・紙パック(牛乳パック)をリサイクルする理由
- ・紙パックの正しい出し方
- ・全国牛乳容器環境協議会DVD

「牛乳パックン探検隊」視聴



3. 参加者の感想

- ・すくう時の白い液が気持ち悪いと思った。
- ・パルプの液の中は、気持ちよかった。
- ・すくったあとに「ギュウ」とするのが大変だった。
- ・シールを貼って自分のハガキができた。
- ・牛乳パックから白い紙が出てきて驚いた。それをミキサーにかけて小さくすることでハガキができるのが面白かった。
- ・楽しくはがきを作れた。
- ・牛乳パックをリサイクルすると二酸化炭素の量が少なるなることが分かりました。
- ・牛乳パックは、大切な資源であることが分かりました。
- ・牛乳パックのリサイクルの流れが分かりました。

2. 体験 紙パックからはがきづくり

飲んだ後の牛乳パックが、どのようにリサイクルされているかその工程を、はがきづくりから学びます。

- ①紙パックを水にひたしてから、表裏面のポリエチレンをはがす。
- ②ポリエチレンをはがれた紙を細かくちぎってからミキサーに入れる。
- ③ドロドロの状態にします。(パルプができます。)水の中に入れる。
- ④すき型枠に流し入れタオルの上におき、型をはずし押しして水分をとる。よく水分をきってアイロンをかけて乾燥させます。→完成!

